

◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：埼玉県立熊谷女子高等学校自然科学部

26A-01

代表者：校長 佐藤 智明

URL : <http://www.kumajo-h.spec.ed.jp>

1. 活動が必要とされた状況

本校では、現在、世界中で埼玉県熊谷市を流れる元荒川でのみ生息が確認されているムサシトミヨの飼育・研究活動を通して、自然環境について考えを深められる生徒の育成、環境保全活動啓発活動を行いたいと考えている。水温管理が非常に大切なムサシトミヨを安全に飼育、研究活動を行うために、新たに水槽装置（クーラー、ポンプ）を設置したい。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

本校自然科学部（1年生2名、2年生6名）を中心に活動し、ムサシトミヨの飼育・研究を行っている。以下は主な活動内容である。

- 5月 本校1年生対象 ムサシトミヨに関する認知度調査（アンケート）実施
- 6月 文化祭にてムサシトミヨ水槽を展示 来場者対象認知度調査（投票）を実施
ムサシトミヨ保護センターの協力を得て、孵化器を作成し稚魚の飼育に挑戦
- 8月 さいたま水族館にてムサシトミヨ飼育についてのレクチャーを受けた
身の回りにあるものを用いて孵化器を自作し、卵から稚魚への孵化に成功
- 9月 研究の成果を第74回埼玉県科学教育振興展覧会および全国高等学校総合文化祭
推薦校選考会に出展
- 10月 令和5年度自然科学部交流会にてムサシトミヨの飼育に関するポスター発表
- 1月 本校で誕生したムサシトミヨ5匹、保護センターより譲渡されたムサシトミヨ6
匹飼育中
- 2月 令和5年度理科教育研究発表会にてムサシトミヨの飼育に関する研究発表予定



自然科学部交流会ポスター発表



孵化後10日目稚魚



本校飼育設備

3. 活動の成果

文化祭、学校見学会などにおいて本校来場者にもムサシトミヨを知ってもらえるきっかけとなった。また、8月に卵から孵化させた稚魚は、数は減ってしまったものの、1月現在順調に育っている。自然科学部の活動として、ムサシトミヨの飼育研究の成果を、校外での研究発表会等に出展した。

4. 今後に残された課題

ムサシトミヨの知名度は、認知度調査の結果、熊谷市民以外では見たことのある人も少なく、あまり高いとは言えなかった。まずはより多くの人にムサシトミヨを知ってもらい、環境保全活動の啓発を行っていききたい。また、高校での飼育に必要な知識や技術をまとめ、他校にもムサシトミヨを飼育できる環境を伝えていきたい。